



エルダー社員制度に關しての間、「ライフプランいっきガイド」で示されている再雇用までのスケジュールから大きく外れて提示が行われていることに対して、組合員から不安や疑問の声が寄せられてきました。

申13号

不安・不満を解消し公平で納得性あるエルダー社員制度を実現しよう

新潟地本は5月13日、申13号・エルダー社員制度の誠意ある運用を求める申し入れを提出しました。

姿勢に因應するためにも、より良い制度へと高めていかなければなりません。制度を運用する経営側には、社員の不安や疑問を解消し、全ての社員に公平で納得性のある制度運用を行う責務があります。

新潟地本は5月13日、エルダー社員制度に関する真摯な対応を求め、申13号

- 1. 来年度退職者に対する、再雇用先提示までのスケジュールを明らかにすること。
- 2. エルダー社員制度の運用は「ライフプランいっきガイド」に沿ったスケジュールにおいて行うこと。
- 3. グループ会社における雇用先の拡大をはかること。

として申し入れを行いました。

- 4. 自己申告書(5)の「業種」を「会社名」に変更すること。また、JR東日本(本体エルダー)を会社名に追加すること。
- 5. グループ会社における短日勤務が認められない理由を明らかにすると共に、認められるよう改善すること。
- 6. 本体エルダー社員が途中で業務を続けられなくなった場合の措置について明らかにすること。
- 7. グループ会社の年間休日と本体と同様にすることを働きかけること。
- 8. 出向先会社の詳細な就業実態を提示すること。

安全・安定輸送と技術継承を 実現できる運輸職場づくりを

新潟地本は5月13日、申14号・在来線全運輸区における安全・安定輸送と技術継承の実現を求める申し入れを提出しました。

在来線全運輸区の運輸士が他の運輸区へ異動する人事が4月1日付けで一斉に行われました。2年前より始まったこの「プロ」を異動させる人事運用に対し新潟地本は2017年度申15号「安

全・安定輸送、及び技術継承に関わる人事運用のあり方に対する申し入れ」を提出し新潟支社と団体交渉を行ってきました。この団体交渉では支社

術継承を担える「プロ」となるまでには多くの時間と経験を積む必要があります。それぞれ特性を持った各運輸区で20年以上の経験を積み上げてから異動となった社員が異動先で順応するための苦悩が現在も続いています。また、それぞれの運輸区への異動を希望している社員がいる中で、希望していない社員を異動させたことにより、双方のモチベーションを奪う結果を招いています。発生している現場の混



乱と、モチベーションの低下は新潟支社の発展を著しく妨げるものであり、看過できません。

JR東日本が掲げるグループ経営ビジョン「変革2027」の大前提となる安全・安定輸送や、社員・家族の幸福を実現するためにも、在来線全運輸区における安全・安定輸送と技術継承の実現を求め、新潟地本は5月13日に申14号として、新潟支社に申し入れを行いました。

- 1. この間の「人事交流」の目的及び成果と課題を明らかにすること。
- 2. 運輸士のプロを他の運輸区へ運輸士として異動させるメリット・デメリットを明らかにすること。
- 3. 各運輸区が保持すべき技術上の課題(車種・線区・経験年数・指導・指導操縦者)を区別別に明らかにすること。
- 4. 現場長からの意識付けの際に異動先での課題としてスキルアップ、人材

開催決定! バーベキュー inピアBandai



みんなで集まろう!
みんなで楽しもう!

2019年7月6日(土)
12時00分より
「ピアBandai」
パワーテント「ピアプラザ」

育成と述べられたが具体的に明らかにすること。
5. 他運輸区へ異動を希望している社員を異動させず、希望していない者を異動させる理由を明らかにすること。
6. 新潟支社における結婚・育児・看病・介護等のライフステージに対する人事運用の考え方について明らかにすること。
7. 就業規則に基づいて請求した移転休暇を与えなかった根拠を提示すること。

酒田地区分会花見 日和山で花見を開催!

4月19日に酒田地区分会の春のレクリエーションとして、日和山で花見を開催しました。当日は雨上がりで寒空のもとでしたが、日和山公園の桜は満開でちょうど見頃を迎えたところでした。私たちの他に一般の花見見物客も多く、日和山公園の屋台も満開でした。分会レクには、酒田から新潟へ転出された組合員からも参加して頂き、盛大に開催することができました。今後とも皆が参加しやす

